

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準 4:よく取り組んでおり、成果が大きい 3:熱心に取り組んでおり、今後の期待できる
 2:取り組んでいるが成果が十分でない 1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む 10分間の帯タイムの個々の成果がわかるようにすれば意欲的になるのでは、読書は冊数、ページ数など「いききなにわ」に名前が上がらない子どもへの指導 クラス毎の競争も取り入れては。 10分間の帯タイムにおける個の成長の度合いを調査することで担任がしっかりと把握できる。そのことを通して取組も変わってくると思います。 主体的な学習をさせるためには、基礎・基本をしっかりさせ、できる学習と考えます。従って基礎・基本を徹底して頂きたい。	3
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る 生活チェックシートを保護者にも確認してもらい学校と家庭両方で指導すれば効果的では。 心づくりのための6項目は具体的でわかりやすいので、徹底してもらいたい。 心づくりのための6項目は今後も継続して欲しいです。 生活チェックシートをしっかり活用し、児童の生活に生かして頂きたい。 大きな「いじめ」がなく、教職員の協力、情報の共有化を今後も図って欲しい。	3
3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む 下校見守りの時、よくあいさつできていると思う。 多くの人に学校を知って頂くことは大切なので、ホームページの発信、オープンスクールの充実を図って下さい。	3
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る	3
■教育目標 あいさつは、まず全教員が率先して児童に声をかけて欲しい。 黙々掃除や移動を意識できる児童の増加は素晴らしいと思われませんが、クラスによって差があるということは、担任の取組みが徹底されていないかと思われま。みんなで話し合ったことは、みんな(教職員)が守るようにしてもらいたい。	3
■研究テーマ 伝える力はとても大切な力と考えます。書くことも大事ですが、言葉で伝える力も育成して欲しいと考えます。 若手の先生には色々な所に行って、自ら学ぶことを望みます。そうすることで自分自身の授業スタイルが確立できます。	3
■環境・特活・生徒指導 生徒指導部会で良かった所について、その担任の先生が自分の言動も含めて取り組んだ内容を情報交換すれば良いのでは。	3
評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	C
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B